

あなたと議会を結ぶ情報誌

令和2年6月発行
No.200記念号

議会だより



はこね



現観光物産館が役場として使われていた当時の議場の様子



昭和44年 現庁舎が完成 当時の議場の様子

主な内容

200号記念特集 P 2～7
3月定例会 会期議案内容等 P 8～9
予算審議 P 10～13
審議結果等 P 13

委員会報告 P 14
新型コロナ対策 5月臨時会 P 15
我が家の自慢等 P 16

議会だより200号に寄せて



箱根町議会議長
石川 栄

約50年の歳月を経て、議会だより創刊200号を発行するに至りました。諸先輩議員から脈々と続くこの議会だよりの節目に立ち会えたことを嬉しく思うと同時に、積み重ねられたその歴史を改めて実感しております。

毎号、毎号、広報広聴委員が定例会閉会後、発行までの約1カ月半という短期間に集中して会議を開き、誌面構成や表紙を含めた写真の撮影、提出された原稿の確認等を創意工夫しながら、5人の議会だよりモニターさんからのご意見も取り入れつつ編集しております。

私も広報広聴委員会の前身である議会だより編集委員会委員として、4年間発行に携わりましたが、当時どのような記事を書けるか、掲載する写真を何にするか等、締め切りを気にしながら忙しく編集作業にあたった事を懐かしく思い出します。

今後も、ただ単に250号、300号を目指すだけでなく、より多くの町民の皆さまに読んでいただけるような誌面を作るため、議員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご協力、ご指導をお願い申し上げます。

ご祝詞



箱根町長
山口 昇士

議会だよりが昭和44年1月の創刊以来、今号で200号を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

編集、発刊に携わられました歴代の議員各位のご努力に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。

箱根町議会では、平成20年度に箱根町議会基本条例調査特別委員会を設置し、町民に開かれた議会・議論する議会をテーマに5年の歳月をかけ箱根町議会基本条例を制定されました。町民に信頼される議会を目指し取り組まれている議会改革の一つとして、町民との意見交換会、ホームページ、SNSの活用による情報発信に力を入れていらっしゃいます。

この開かれた議会の実現のために欠かすことのできないツールのひとつとして、議会だよりがあります。議会や委員会等で審議した町政に係る案件を町民の皆さまにお届けする重要な役割を担っているものであり、町民にわかりやすい議会を念頭に編集され、町民の視点を意識した的確な情報公開が果たされていると思っております。

創刊200号という節目を契機に、更なる情報公開に努め、充実した広報誌として発刊を継続されるとともに町議会のさらなる発展を遂げられることをご期待申し上げます。

**私たち広報広聴委員会は
読みやすい紙面づくりを
心がけています。**



町民の皆さまに、議会の活動を分かりやすく伝えるために、昭和44年1月に創刊をされた「議会だより」がこの度200号を迎えることとなりました。

この間の当町を取り巻く環境は著しく変化し、町民のニーズも多様化していく中であって、議会の果たす役割は大変重要となっております。

当町は現在、厳しい財政の運営を強いられる状況の中にあります。議会としては執行部と一つになり町づくりを進めてまいります。

この記念特集号は町議会の歴史を追うことで、歩みを振り返り、これからの議会広報の在り方を考える機会として発行いたしました。

今後はさらに多くの方に議会の活動をお知らせできるように努めてまいりますので一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

広報広聴委員会委員長 川口 延明



第1回編集会議
紙面の構成や提出原稿の確認

議会だより編集

広報広聴委員会が設立してから、より新鮮な内容の提供を目指し、議会終了後から発行までの期間を1か月短縮しました。そのため、各議員からの原稿提出も早くしました。文章の校正や、レイアウトの変更など、印刷所とのやりとりを3回程度実施して議会だよりが発行されます。



一般質問が
終わってから
原稿提出までの
期間が短いよ

平成29年1月1日から モニター制度を導入!!

読む側の立場にたって、読みやすく身近な議会だよりにするため、モニター制度を導入しました。議会だよりを読んだ感想も含め、貴重なご意見をいただき、変更すべきところは、委員会で協議して取り入れております。

みなさんから、このような意見をいただきました

- ①字が小さいので、できるだけはっきり見える工夫をしてみたらどうか。
- ②今回の特集の平成29年度予算審議はQ&Aが簡潔で、しかも興味深い、とても身近な議題だったので、分かりやすく良かった。
- ③もっと議員さんの生の声、取り組んでいる事、議会の質問外でも伝えたいコーナーがあればよいと思います。
- ④審議情報を伝える性格上、やむを得ませんが、文字が多すぎて読みづらい印象ですね。質問者の顔写真を入れるなど工夫しては？
- ⑤答弁者は原則、町長なのではないでしょうか？答弁者の部署（担当）名も記載しておくといいいのでは？
- ⑥略語には毎号注釈がほしい。

表紙には、身近な写真を掲載するようにしました



金時山や金時公園等のPRを
れを書いた説明版を設置していく

字数を少なくし、文字を大きく
しました

誰が回答したか、役職を
掲載しました

聞きなれない議会用語には
注釈を付けました

※1 中継施設とは、一時的に焼却ごみを貯蔵する施設のことです。
※2 高工従業員表彰式は、永年勤続表彰は昭和37年から、優良従業員



モニターさん紹介

- ◆平成29年1月1日～平成30年12月31日
二見 嘉彦さん、小林 光代さん、茂村ひとみさん、
勝俣 直子さん、児島 主徳さん
- ◆令和元年5月1日～令和3年4月30日
八木下博之さん、三木 英明さん、瀬戸かず江さん、
金子 純子さん、井上 京子さん

50号 昭和58年8月発行



No.50
昭和58年8月発行
発行 箱根町議会
編集 議会事務局
箱根町湯本256
TEL 5-7111
印刷 森アルファ



8月19日に行われた箱根明星中学校屋内運動場の落成式の後、コケラ落しとしてバレーボール模範試合、富士フィルム対東洋レーヨン九騎合の熱戦が繰り広げられた。

6月定例会

条例改正など8議案を原案可決

工事請負契約の締結議案2件を可決

〔宮城野温泉会館建設工事〕
〔町道湯156号線改良工事〕

	箱根町の出来事	日本と世界の出来事
1982年 昭和57年	<ul style="list-style-type: none"> ●大涌谷自然科学館10周年記念式典 ●仙石原文化センター完成 ●カナダのジャスパー町と姉妹提携10周年 ●町政モニター20名決定 	<ul style="list-style-type: none"> ●五百円硬貨発行 ●フォークランド紛争勃発 ●東北新幹線開業 ●国鉄のリニアモーターカーが世界初の有人浮上走行実験に成功 ●上越新幹線開業
1983年 昭和58年	<ul style="list-style-type: none"> ●湿生花園入園者100万人達成 ●大涌谷自然科学館入館者300万人達成 ●郷土資料館開館 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本海中部地震 ●東京ディズニーランド開業 ●老人保健法実施 ●大韓航空機撃墜事件
1984年 昭和59年	<ul style="list-style-type: none"> ●宮城野温泉会館オープン ●仙石原保育園30周年 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本全土大雪寒波襲来 ●レーガン大統領再選

	箱根町の出来事	日本と世界の出来事
1987年 昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> ●ニュージーランドのタウポ町と姉妹提携 	<ul style="list-style-type: none"> ●青函トンネル完成 ●東京ドーム完成 ●瀬戸大橋完成
1988年 昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> ●社会教育センター完成 ●箱根芦ノ湯フラワーセンター完成 	<ul style="list-style-type: none"> ●青函トンネル開通 ●リクルート事件 ●消費税の導入を柱とした税制改革6法案が成立
1989年 昭和から平成へ	<ul style="list-style-type: none"> ●平成初めての町議会議員選挙実施 定数22名 ●新温泉小学校完成 ●宮城野浄水センター完成 ●観光施設を町観光公社に一部委託する 	<ul style="list-style-type: none"> ●皇太子明仁親王（現上皇陛下）が天皇に即位され、平成が始まる ●消費税導入 ●天安門事件 ●ソウル五輪 ●ベルリンの壁崩壊 ●バブル崩壊の始まり
1990年 平成2年	<ul style="list-style-type: none"> ●大涌谷自然科学館入館者500万人達成 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成不況への突入 ●文部省 観測用ロケット第1号機打ち上げ ●スペースシャトル ディスカバリー打ち上げ
1991年 平成3年	<ul style="list-style-type: none"> ●箱根幼稚園と元箱根幼稚園統合 ●箱根関所入場者2,000万人達成 ●箱根の観光客数2,247万人達成 	<ul style="list-style-type: none"> ●横綱 千代の富士引退 ●雲仙普賢岳噴火 ●湾岸戦争勃発 ●ソビエト連邦崩壊

75号 平成元年9月発行



No.75
平成元年9月発行
発行 箱根町議会
編集 議会事務局
箱根町湯本256
電話 5-7111
印刷 藤和印刷株式会社



ゴールはすぐそこ「ガンバレーノ」
(9月10日・宮城野地域健康大会から)

9月定例会

条例制定など9件を審議
一般質問1名から9項目

100号 平成7年11月発行

議会報 あなたと議会を結ぶ情報誌

はこね

平成7年11月 No.100

9月定例会 10月臨時会

9月定例会
議員定数削減20名に！
平成9年の町議会議員選挙から施行

10月臨時会
議長に稲葉光政議員 副議長に横山和夫議員

発行/箱根町議会 編集/議会事務局 〒250-03 神奈川県足柄下郡箱根町湯本256 ☎0460-5-7111
印刷/藤和印刷株式会社

	箱根町の出来事	日本と世界の出来事
1994年 平成6年	<ul style="list-style-type: none"> ●東京・箱根間往復大学駅伝競走第70回大会記念碑建立 ●虻田町で姉妹都市提携30周年記念式典 ●救急救命士第1号誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成6年渇水 記録的な猛暑と水不足 ●初の気象予報士国家試験が行われる
1995年 平成7年	<ul style="list-style-type: none"> ●箱根湿生花園管理棟完成 ●道の駅「箱根峠」完成 ●箱根新道須雲川インターチェンジ開通 	<ul style="list-style-type: none"> ●阪神淡路大震災発生 ●マイクロソフトのWindows95が発表される ●MLB野茂英雄がナショナルリーグの新人王
1996年 平成8年	<ul style="list-style-type: none"> ●箱根町生きがい事業団設立 ●箱根町町民憲章制定 ●町政40周年記念式典 ●町長選挙施行(小川欣一氏再選) 	<ul style="list-style-type: none"> ●アトランタ五輪開催 ●国連総会で包括的核実験禁止条約が採択される ●MLB野茂英雄ノーヒットノーラン達成 ●原爆ドームが世界遺産に登録

	箱根町の出来事	日本と世界の出来事
1999年 平成11年	●仙石原中学校気象観測50周年記念式典	●上信越自動車道全線開通
2000年 平成12年	●県立小田原城内高等学校箱根分校最後の卒業式	●シドニー五輪 高橋尚子さんが女子マラソンで金メダル
2001年 平成13年	<ul style="list-style-type: none"> ●箱根町ホームページに本会議の会議録公開開始 ●箱根大涌谷硫黄のかがおり、かおり風景100選に指定される ●西さがみ連邦共和国を建国(平成22年4月解散) 	<ul style="list-style-type: none"> ●小泉純一郎が首相に就任 第1次小泉内閣発足 ●アメリカ9.11テロ事件発生 ●愛子内親王誕生
2002年 平成14年	●箱根町こども議会開催	●初の日朝首脳会談で金総書記が「拉致」を謝罪、被害者5人が帰国
2003年 平成15年	<ul style="list-style-type: none"> ●仙石原幼児学園が開園 ●箱根駅伝予選会を芦ノ湖東岸で開催 	●新型肺炎SARSが中国などで大流行

125号 平成13年11月発行

はこねスポーツまつり 2001

あなたと議会を結ぶ情報誌

議会だより はこね

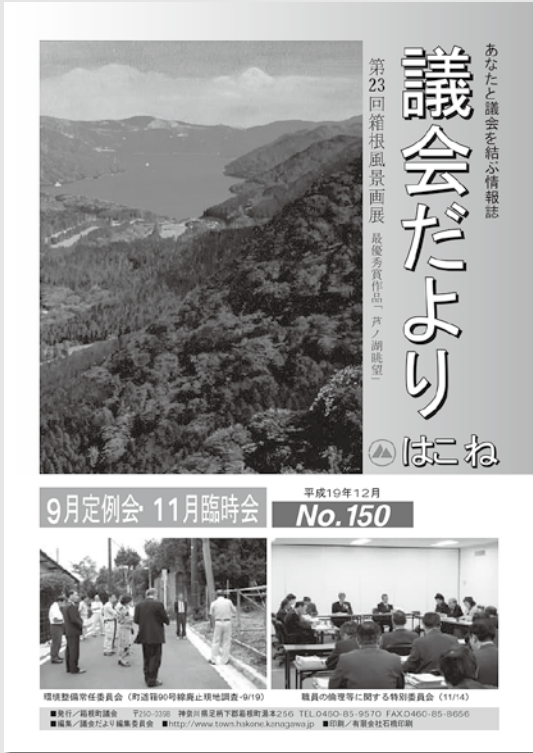
平成13年 11月 10月臨時会特別号 No.125

議会のしごとや議員紹介、また、議会会議録の閲覧、常任委員会の活動状況などについては、箱根町ホームページでもご覧になれます。
なお、どなたでも利用できる種別(行政課)が本庁舎、香出振所、社会教育センター、レイクアリーナ、やまなみ荘、先月オープンした「さくら館」に設置されておりますので、ぜひご利用ください。

12月定例会は12月13日からです。併録にしてください。

発行/箱根町議会 〒250-0308 神奈川県足柄下郡箱根町湯本256 TEL.0460-5-7111 FAX.0460-5-8656
編集/議会事務局 〒250-03 神奈川県足柄下郡箱根町湯本256 ☎0460-5-7111 印刷/藤和印刷株式会社

150号 平成19年12月発行



	箱根町の出来事	日本と世界の出来事
2006年 平成18年	<ul style="list-style-type: none"> ●景観行政団体に決定 ●財箱根町観光協会設立 ●関所足軽番所・遠見番所等の一般公開セラモニー ●洞爺湖町姉妹提携再調印 ●町政50周年記念式典 ●関所入場者数3,000万人達成 	<ul style="list-style-type: none"> ●首都圏平野部で2001年以来の大雪 ●第1次安倍内閣発足 ●トリノ五輪 荒川静香さんがフィギュアスケートで金メダル ●スペースシャトルアトランティス打ち上げ ●教育基本法改正案が可決
2007年 平成19年	<ul style="list-style-type: none"> ●市内局番に「8」が追加 	<ul style="list-style-type: none"> ●年金記録問題発覚
2008年 平成20年	<ul style="list-style-type: none"> ●町立小中学校統廃合 	<ul style="list-style-type: none"> ●福田内閣発足

歴代議員名 (合併後の町議会議員選挙から掲載)

議長経験者は太字としています。

氏名	初当選	当選回数	氏名	初当選	当選回数	氏名	初当選	当選回数	氏名	初当選	当選回数
安藤幾之助	S32.9.30	3	佐野 嘉蔵	S36.9.30	2	平戸 義隆	S48.9.30	5	瀬戸 勝彦	H5.9.30	3
梅村 七郎	S32.9.30	1	遠山 雪治	S36.9.30	1	小川 新蔵	S52.9.30	1	田中 円海	H5.9.30	1
榎本 孝一	S32.9.30	3	平戸 順次	S36.9.30	1	菊川 秀一	S52.9.30	1	勝俣 清春	H5.9.30	5
大場 朋世	S32.9.30	3	舛山菊次郎	S36.9.30	2	辻 国夫	S52.9.30	2	原島 京子	H5.9.30	1
勝俣勲太郎	S32.9.30	2	三谷益太郎	S36.9.30	1	岡田 輝茂	S52.9.30	4	古川 貞夫	H5.9.30	4
勝俣甲子一	S32.9.30	3	室伏一太郎	S36.9.30	1	勝俣 輝彦	S52.9.30	3	室伏 一克	H5.9.30	2
勝俣 平内	S32.9.30	1	尾田 綱義	S36.9.30	4	勝俣 太郎	S52.9.30	3	湯川スズ子	H5.11.22	1
勝俣 孫蔵	S32.9.30	2	天野 堯	S36.9.30	4	菊川 儀長	S52.9.30	4	安藤 孝子	H8.10.28	2
金子誠一郎	S32.9.30	1	沖山 賢	S36.9.30	5	倉橋 啓	S52.9.30	6	杉山 幹雄	H9.9.30	3
小林 義良	S32.9.30	2	沢井 俊夫	S40.9.30	2	高岡 新平	S52.9.30	5	西村 和夫	H9.9.30	5
杉浦 留吉	S32.9.30	1	杉山 馨	S40.9.30	2	大澤 三郎	S53.3.16	3	加藤 秀行	H9.9.30	2
鈴木 鶴吉	S32.9.30	1	山口 悦雄	S40.9.30	3	勝俣三代次	S56.9.30	1	勝俣 信	H12.10.30	3
辻内富士雄	S32.9.30	4	遠藤 増夫	S40.9.30	4	松井 公平	S56.9.30	2	勝呂 昌子	H13.9.30	2
中村 信吉	S32.9.30	1	柚木 敏郎	S40.9.30	4	稲葉 光政	S56.9.30	5	小川 鶴雄	H13.9.30	5
平井 治策	S32.9.30	1	勝俣 二郎	S40.9.30	4	上野 治巳	S56.9.30	5	天野 涉	H13.9.30	1
古谷顕一郎	S32.9.30	4	勝俣 武夫	S40.9.30	5	沖津 茂	S56.9.30	3	折橋 尚道	H13.9.30	5
山口 六郎	S32.9.30	1	瀬戸 正次	S40.9.30	7	折橋 英治	S56.9.30	3	勝俣 公好	H16.11.1	5
山田 欽司	S32.9.30	1	小川 亀吉	S44.9.30	1	勝俣 忍	S56.9.30	3	仙石 有二	H17.9.30	1
山田 末雄	S32.9.30	1	田治林太郎	S44.9.30	1	結城 幸雄	S56.9.30	3	二見 嘉彦	H17.9.30	1
結城道太郎	S32.9.30	1	勝俣 大蔵	S44.9.30	2	石村 菊次	S60.9.30	1	村野由紀子	H17.9.30	4
沢田 安春	S32.9.30	3	平野 芳雄	S44.9.30	3	山田 和江	S60.9.30	9	勝俣 剛一	H20.10.27	4
田中 達夫	S32.9.30	5	稲村 得寿	S44.9.30	6	湯川 繁	H元.9.30	1	山田 成宣	H21.9.30	3
望月 辰吾	S32.9.30	5	勝俣 義満	S44.9.30	6	川端 祥介	H元.9.30	8	石川 栄	H21.9.30	3
菊川 清一	S32.9.30	5	松井 務	S48.9.30	2	飯岡 利春	H元.9.30	2	稲葉親太郎	H21.9.30	3
細川 五郎	S32.9.30	6	勝俣 朝吉	S48.9.30	2	勝俣 俊彦	H元.9.30	5	遠藤 秀則	H21.9.30	3
菊川喜之助	S32.9.30	6	依元八王丸	S48.9.30	2	津田 住雄	H元.9.30	3	川口 延明	H25.9.30	2
梅沢啓太郎	S36.9.30	3	谷口 侑佑	S48.9.30	7	勝俣 徹	H元.9.30	4	勝俣 泰彦	H29.9.30	1
勝俣里太郎	S36.9.30	2	古田 安典	S48.9.30	8	村上 東司	H4.10.26	4			
勝俣 重光	S36.9.30	1	横山 和夫	S48.9.30	6	沖津 弘幸	H4.10.26	8			

3月議会（令和2年度予算審議）

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため一般質問は中止され、当初予定の会期よりも早く閉会（3月13日）となりました。

令和2年度の予算質疑の一部は9～11ページに掲載しています。

専決処分

- 専決処分の承認を求めることについて
- 台風19号による災害産業廃棄物の撤去 = 1億2,750万円
- ふるさと納税の寄付の増額 = 3億6,000万円

条例改正

- 箱根町監査委員条例及び箱根町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算

令和元年度箱根町一般会計補正予算（第4号）

補正額 2億3,845万7,000円追加

- 主な内容** 箱根登山鉄道災害復旧支援事業…1億円
- 町道湯2号線（湯本茶屋 元KKR跡付近）狭隘部分拡幅事業…2,647万円

令和元年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

補正額 212万6,000円減額

令和元年度箱根町介護保険特別会計補正予算（第3号）

補正額 1,292万7,000円追加

令和元年度箱根町公共下水道事業会計補正予算（第1号）

補正額 4,091万4,000円追加

- 主な内容** 機械設備応急本復旧工事費…2,563万円

令和元年度箱根町一般会計補正予算（第5号）

補正額 6,191万7,000円追加

- 主な内容** 経営安定緊急融資事業…6,191万7,000円

新年度予算

- 令和2年度箱根町一般会計予算及びその他11会計予算
- 予算質疑の一部は10～12ページへ

専決処分とは…地方自治法の定めにより、緊急時で議会を招集する時間が無い場合など、町長が予算や条例など、議会に諮らずに決定し処理することができ、処分後に議会の承認を得るもの。

コロナ回避のため
一般質問を中止

会期

2月20日から
3月18日まで

承認
専決処分
1件

可決(24件)
条例改正
5件

令和元年度
各会計補正予算
5件

令和2年度
各会計予算
12件

工事請負契約
の一部変更
1件

町道路線の廃止
1件

同意
人事案件
1件

工事請負契約

○工事請負契約の一部変更について

湯本消防分署工事で転石発生、山留設置工事他の追加により1億4,874万2,000円追加し、6億8,224万2,000円

町道

○町道路線の廃止

町道湯209号線を廃止 ※町道としての現況がないため廃止するもの

人事案件

○教育長の任命について

小林恭一さんの後任として對木雄一さんを選任することに同意。

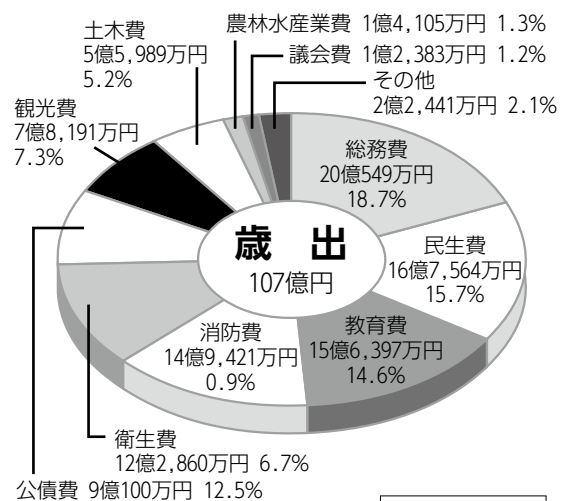
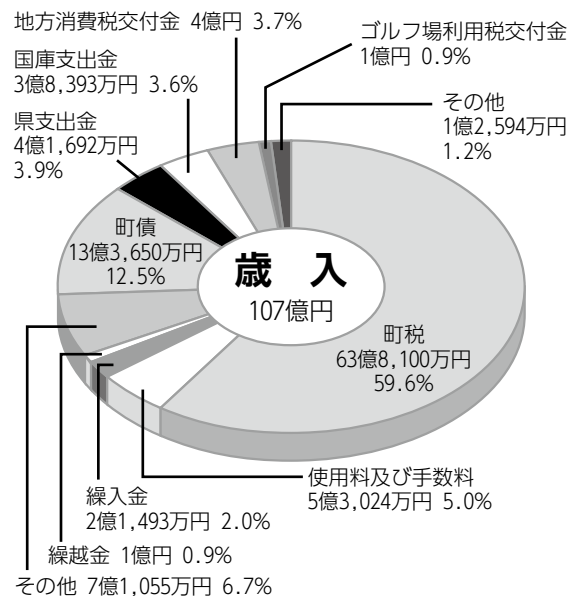
歳入

- ①**固定資産税 = 45億150万円**
対前年比 101.0%
※新規宿泊施設の開業などにより増収が見込まれる。
- ②**ふるさと納税寄付金 = 4億5,000万円**
対前年比 180.0%

歳出

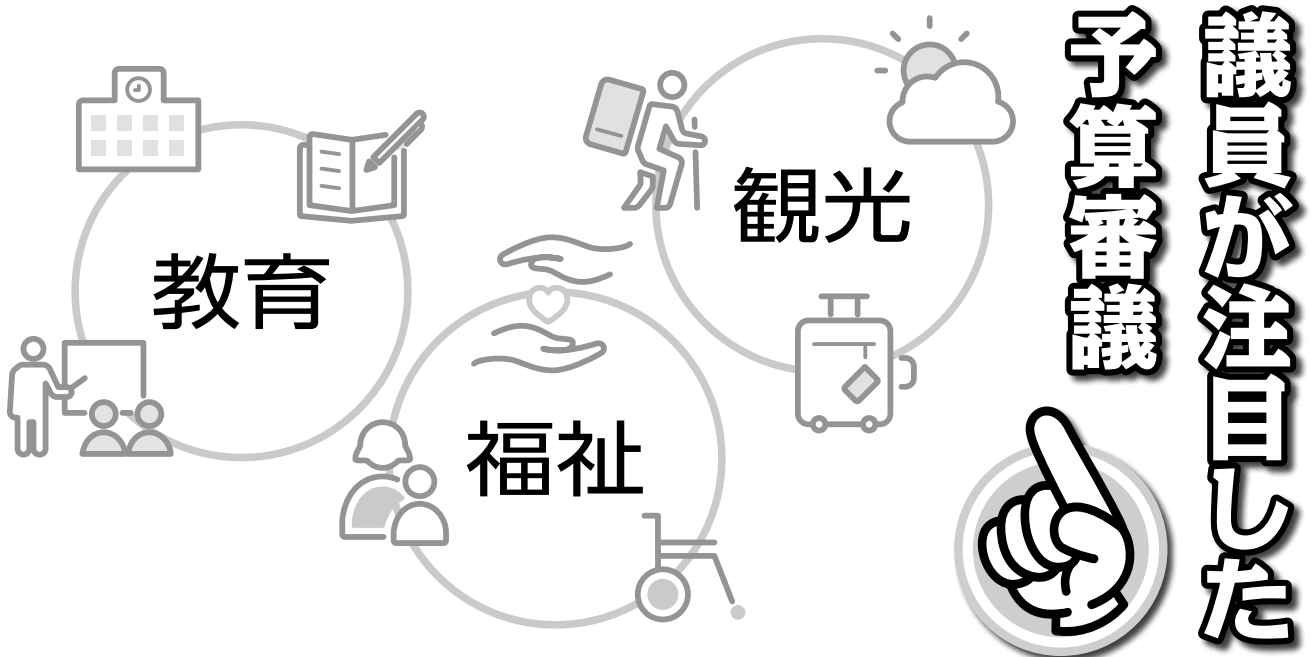
- ①**高齢者サポート事業 73万8,000円**
※買い物支援サービスや自動車急発信抑制装置等設置費の補助
- ②**産婦健康診査費助成事業 120万3,000円**
※出産後の母体の機能回復や精神状態を把握する目的の健康診査受診費の補助
- ③**新生児聴覚検査費助成事業 55万円**
※新生児の聴覚障害早期発見、早期治療等の検査費補助
- ④**放課後児童健全育成事業 2,232万円**
※放課後・学童クラブの通年土曜日の開所検討
- ⑤**町道箱1号線道路改良整備事業 3,900万円**
※箱根神社下の町道、狭隘部分の直線化への取り組み
- ⑥**大涌谷火山対策事業 2,236万2,000円**
- ⑦**地震等災害対策事業 2,540万7,000円**
- ⑧**ごみ処理広域化推進事業 1,032万9,000円**
- ⑨**はこね親善大使事業 221万4,000円**
※親善大使の八代亜紀さん、お笑い芸人チョコレートプラネットの松尾駿さんの箱根活動支援
- ⑩**湯本地区公共施設利活用事業 396万円**
※箱根観光物産館敷地、消防湯本分署移転後の跡地の活用策検討

【令和2年度 一般会計予算】



詳しくは、こちらのQRコードから広報はこね4月号をご覧ください。





東京2020大会特別宣伝事業 勝俣 公好

Q オリンピックを控え訪日客に対する宣伝と思うが、事業内容と目的は

A 目的は、オリンピック、パラリンピック観戦に訪日する観光客に、箱根への訪客を図るとともに、リピーターを創出することを目指して効果的な広告宣伝を実施する。

具体的にはANAグループ国際路線機内での30秒間の動画放映、羽田国際線到着ロビーでパンフレット配架、東京モノレール羽田国際線ビル駅（羽田空港国際線ビル駅）へのポスター掲示。これらの広告を出す期間は、国際線機内の放映が7月1日から1か月間、ポスターは7月10日から9月18日、パンフレット配架については4月1日から1年間とする。

Q 同大会が中止の時は

A 将来にわたって箱根の宣伝になるため実施する。

東京2020大会聖火リレー応援事業 川口 延明

Q 東京2020大会聖火リレーの概要

A 箱根町の聖火リレーは6月29日の午前10時15分に箱根駅伝往路ゴール地点を出発、10時40分に元箱根の芦ノ湖遊覧船乗り場付近に到着。当日は聖火リレーを応援するための、のぼり旗、横断幕等を掲出する。出発地点では箱根町立の小・中学生も応援参加の予定。また、町民にも参加意識をもってもらうため全町内に周知し、応援グッズ（手旗）を参加者に配布し沿道での応援をお願いする。聖火リレーに先立ち、1時間ほどのセレモニーを予定している。演出の内容、出演者は記者発表後のお知らせとなる。またスタート地点では地元独自の盛り上げも予定していきたい。

箱根土曜塾運営事業 沖津 弘幸

Q 事業の効果は

A 受講生の割合は開設当初の平成29年度は箱根中学校3年生の34.7%だったが、平成30年度は38.2%、令和元年度は48%と増加し、通塾による保護者の負担となる時間や費用を軽減することができたのではないかと考えている。開設当初から受講生が希望する高校に合格しているため、土曜塾の運営には一定の効果があると考えている。

Q 3年生だけでなく、高校受験に向けた1、2年生にも対象を拡大する考えはあるか

A 通塾する生徒の家庭の負担軽減を図るという観点からは大変有効と考えるが、受講場所の問題や講師、ICT機器の配備といった拡大するためには検討しなければならない課題や問題等もあるため、今後十分な検証等を行い、受講機会拡大を検討したいと考えている。

東京2020大会体験事業について 折橋 尚道

Q 学校教育の中の目玉事業として、「小・中学生のパラリンピック観戦」がある。実施の基本計画は

A 車いすバスケットボールと水泳の2種目でチケット600枚確保。バスケット会場は有明アリーナと武蔵野の森総合スポーツプラザ、水泳は東京アクアティクスセンター。移動は貸し切りバスを予定する。

Q 観戦実施までの期間、授業として取り組む内容と期待される教育的効果は

A 昨年、車いすバスケットボールの体験講座を実施し、今年度も、パラスポーツ体験の委託費用を計上し、パラスポーツ体験の機会を提供。教育的効果は、「主体的・対話的で深い学び」が体験学習や観戦を通じて、実践できると期待している。

国民健康保険特別会計

山田 和江

Q 元年度は大涌谷の警戒レベルが上がり、台風19号の影響で来年度所得が減る方もいると思うが、そのあたりは予算に反映しているのか。また、所得が減った場合予算で見込んだ保険料と差額がある場合はどのように算定するのか。

A 台風等の被害による所得の減少を見込むのは難しいため加味していない。本算定時に所得が減ったときは被保険者の負担とならないよう積立金を取崩し保険料に充てる。

Q 保険料の引き下げについて町はどのように考えているのか

A 今後においても保険料はすえ置きにしたが所得が低い方への配慮は必要なことから、均等割の負担軽減、更に2年度から18歳以下の第3子から均等割額を全額免除することとしている。

認知症見守り支援事業

勝俣 剛一

Q 支援策と事業内容

A 認知症の方が徘徊行方不明になった際、警察や関係機関と連携し神奈川県内全域にネットワークを設け保護し、家族のもとへ帰す仕組みである。GPS発信機等利用のため、登録手続きが必要。

Q 当町では高齢化率37%に達しており、厚生労働省「認知症施策推進総合戦略新オレンジプラン」では、5年後は5人に1人が認知症となる推計である。徘徊等の発見が遅れると生命の危険にも及ぶ。当今後の認知症対策の取り組みは。

A 認知症サポーターによる見守りや、地域支援推進委員の相談支援等認知症に関する正しい知識と理解を持てるよう普及啓発に努め、安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築を推進する。

高齢サポート事業

村野由紀子

Q 自動車急発進抑制装置等の補助制度について伺う

A 高齢者が現在使用している自動車に安全装置を設置することを推奨する。急発進抑制装置等（アクセルペダルの踏み間違いによる急発進の抑制、障害物検知装置、アクセルとブレーキペダルの踏み間違いを防止する装置）の購入費用や取付工賃の一部を補助する。

Q 国からの安全運転サポート車普及促進事業費補助金（サポカー補助金）と町の補助金について伺う

A 国は、障害物検知装置付きの取り付け4万円、その他の装置は2万円を補助し、国の補助金を差し引き10万円を限度に補助する。本体と工賃を含めて約4万円～7万円程度が主流である。町補助金は、国の補助金を差し引き1件につき2万円～3万円程度と想定。ほぼ全額公費で賄うことができる。

子育て包括支援事業

川端 祥介

Q ひとり親家庭の養育費実態調査（支給状況等）や、ひとり親家庭における支援として、養育費を受けられない方への自治体としての手続きや代行、また建て替え制度等の支援について、町の考え方を伺う。

A 町として、養育費の実態調査は行っていないが、現況手当の添付書類として、養育費の取り決めの有無があり、取り決めしている方は38%、取り決めされていない方が62%となっている。

また、県下でも養育費の保証・確保に関する制度に4月から取り組む自治体があるようで、全国的にみてもまだその数は少なく、支援の方法はいろいろあるようである。

現在のところ県下の市町村の状況を注視してまいりたいと思う。

放課後児童健全育成事業

山田 成宣

Q 事業を外部委託に1,206万円の予算を計上しているが、来年度4月からの各クラブ入所決定者の保護者はどのような職種の方が多いのか？

A 本町は観光地であるため、宿泊・飲食業が36.1%と一番多く、次いでサービス業が29.7%、医療・福祉業が12.7%となっている。

Q 観光業に従事されている方が半数以上を占めていることは、土曜日もクラブの開所をすることのニーズがあるのではないかと。是非とも通年で土曜日のクラブの開所をしていただきたい。

A 現在は長期休暇中のみ土曜日の開所となっているが、観光産業に従事されている保護者のことを念頭に、来年度以降通年で土曜日の学童クラブの開所に向け、ニーズ等を考慮し前向きに検討に入る。



仙石原交差点周辺まちづくり事業

勝俣 泰彦

Q 事業内容等

A 平成30年に発足した「仙石原まちづくりプラットフォーム」に、まちづくり他の専門家に参加して頂き「交差点周辺を住民や観光客等が集い楽しめる場」にするため、仙石原公園利活用方針等を検討し、地域将来像のテーマ（箱根の西の玄関口・旅と生活のハブ拠点）実現に向け「人々の集う場・新たな魅力創出・経済活性化」をコンセプトにプラットフォームにて検討すると共に仙石原公園全体の管理体制についても見直す。

Q バスターミナル計画

A 交通事業者により、周辺路線のバス停5か所・高速バス1か所の集約及びバス案内所や待合室の設備を計画する。



町道湯2号線道路改良整備事業について

小川 鶴雄

Q 道路新設改良費の委託料600万円について伺う。

A 町道湯2号線の道路拡幅事業で道路予備設計及び地形測量委託等を実施する予算で、予備設計の区間は、パークス吉野から鮎見橋までの550mで、道路幅員は車道5m、歩道2mの道路計画である。

Q 箱根湯本ホテル本館付近の開運橋は、古く老朽化しており狭いのため、橋の拡幅と架け替えについて伺う。

A 道路の拡幅と一体的にするため、現在架け替え等に向けた検討資料を作成中である。

河川砂防管理者である神奈川県や、隣接地権者等の方々と協議を進める。現在の橋りょうは耐震等の観点から既存不適格であるため、架け替え等による整備となる。

町道宮179号線道路整備事業

稲葉親太郎

Q この事業の内容は

A ニノ平彫刻の森駅付近の道路延長50mの狭隘部分の拡幅工事を事業費1,740万円、その内、既存樹木伐採に係る役務費30万円、本工事における積算及び現場管理費を委託する委託費350万円、拡幅工事の本工事費用1,360万円となる。

Q 踏切周辺の狭隘道路が拡幅されることにより得られる効果は

A 車両交通の円滑化が1番の効果となり、将来的には歩道設置も考えられるが、今回の整備は、狭いながらもグリーンラインによる、歩行空間の確保も可能になり、道路の安全や安心を得られることが、本事業の効果である。



湯本分署建設事業について

遠藤 秀則

Q 建設工事の、契約変更で工期延長したが、現場の状況と進捗率、委託料の内容は

A 契約変更を議決し、令和2年11月30日まで延長、年度末で40%、コンクリート打設を6月中旬、7月から内部施工の予定。工期延長となったが、移転まで現在の場所で業務に支障はない。工事管理業務委託料と電気設備保守管理委託料として789万2,000円

Q 今回の建設工事については、想定外の事*が起き、結果契約変更し、契約変更ありきの設計であってはならない。再発防止についての考えを伺う。

A 原因について実施設計での十分な調査、研究の不足と考え、今後チェック機能の強化に万全の対応をし、再発防止に向け全力で取り組んでいく。

*想定外の事とは、分署建設中に地中から巨大な転石が多数見つかって設計変更が必要になったことです。

討 論 予算案をこのような理由で賛成／反対

至 誠 会 賛 成

全体的に施策合わせた予算配分であると認められる。歳入での固定資産税は微増となっているが、町民税、タバコ税は減となった。歳出面の事業は、社会情勢を鑑みてバランスよく予算配分されている。

安心安全の観点から防災力強化に力点が置かれており、教育福祉関係については、箱根独自の教育に関する取り組みや福祉面の乳幼児期から高齢者までの対策がなされている。

今後も行財政改革アクションプランの着実な遂行により事業に関する重要度・優先順位を明確にした事業展開による効率的な行政運営を実施し、重点施策である「防災力の強化」、「若者定住の促進」、「健康生活の推進」、「ブランド力の強化」を力強く進めていただきたい。

山田 和江 議員 反 対

予算案には、わが党が要求した仙石原文化センターの温水便座化や防災用ドローンの購入、消防職員5名増、就学援助金の増額が含まれ、また、新規事業に高齢者サポート事業、新生児の聴覚検査費用の助成が盛り込まれたことは評価できる。しかし以下の4つの理由で反対した。

1. 固定資産税の超過課税と国際ホテル整備法による不均一課税の問題では特に整備法の見直しが必要であること。
2. 粗大ごみ処理手数料がキロ18円から23円に引き上げられ、ごみ処理広域化推進事業費が計上されていること。
3. 国民監視につながる個人番号カード関連予算が増額されていること。
4. 指導員のなり手不足を理由に子どもたちの放課後を保障する学童保育が10月から民営化されること。

公 明 党 賛 成

新型コロナウイルスの影響で東南アジアの旅行者を初めアメリカや欧州からも内外共に激減した。今は、観光事業者、特に中小・小規模事業者の方々にご相談や様々な融資を実施するなど経営に携われるよう、やって頂きつつ早期の収束を願っている。

住民の負担を頂きながらの厳しい予算である。将来の更なる行政需要に対応するとき、財政の厳しさは、更に増すと思われる。

ふるさと納税をいつまでも宛てにすることなく、将来の起債の依存を軽減し、施設の老朽化への対応や少子高齢化に対する扶助費の増大、将来も町にとって茨の道でもある。職員の知恵と工夫、全職員の英知ですばらしい町の構築を期待して賛成討論とする。

緑風クラブ 賛 成

令和2年の経済見通しは、雇用所得環境の改善が続き内需を中心に景気回復が見込まれる。

当町においても限られた財源を効果あるものとするため、地域活性化を最優先の課題とした財源の配分となり、皆が支えあう元気な町づくり、未来を拓く人材を育て、誰もが住みたくなるより良い生活環境、安全安心、癒しと文化を提供する観光都市づくり。いずれも厳しい中ではあるが、現況に即した予算と考えられる。

今後も住民サービスの提供とやすらぎとおもてなしのあふれる町 箱根を作り上げることを要望し賛成する。

議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	沖津弘幸	折橋尚道	石川栄
7	令和元年度箱根町一般会計補正予算(第4号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	令和2年度箱根町一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	令和2年度箱根町後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	教育長の任命について	同意	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ ○：賛成 ×：反対 -：議長は採決に参加しません。

議会運営委員会 報告

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大により、観光客の落ち込みが続き地域経済や住民生活に甚大な影響を及ぼしています。

そうした中、議会運営委員会では、この未曾有の危機を、地域全体で支え合い、分かち合い、乗り越えていくため、議会日程等を協議し、一般質問を中止と決定いたしました。

また、議場は換気等の感染症予防対策を実施し、令和2年度予算は、議員及び町側の簡潔明瞭な審議により日程が短縮されました。

そして、新たに新型コロナウイルス流行により事業活動に影響を受けている皆様を支援するための箱根町経営安定緊急融資事業と、教育長の選任についての議案が提案され、可決いたしました。

委員長 沖津 弘幸



総務企画観光常任委員会 報告

3月定例会に上程された議案においては、特に委員会付託はありませんでした。

3月定例会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、議会日程が短縮されました。

委員会では、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、「密閉、密集、密接」を踏まえながら、委員会に課せられた、5つの重点テーマ①定住化及び人口減少②防災関係③観光産業④国際交流⑤町税関係の調査研究並びに閉会中の継続審査に掲げる15項目について、委員会として調査研究を行っていき、箱根町の町民福祉の向上に努めていきます。

委員長 稲葉 親太郎



教育福祉環境常任委員会 報告

去る3月4日、付託された議案第24号町道湯209号線の廃止について現地視察し、町当局と共に審査を行いました。現況がなく、町道として存続する必要がないため、採決の結果、全会一致により可決すべきものと決定しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応について、関連部署と連絡をとりながら調査を行い対応させて頂いております。町民の皆様におかれましては、拡大防止への取り組み等にご協力を頂き心から感謝いたします。

今後も国の動向を注視し、皆様の安全・安心を第一に考え、教育福祉の向上と災害対策等にも重きを置き、調査研究してまいります。

委員長 村野 由紀子



議会改革推進等特別委員会 報告

令和2年度の行動指針として、議会基本条例で規定されている自由討議の推進の導入方法等について調査・研究を行いました。

また、今後の議会での女性議員の増加や高齢化社会に備えて、育児休暇・介護休暇について明記をする会議規則の改正等の必要性が上げられました。

全国的な流れを受け、タブレット端末導入に対して具体的な研究をしていくこと、更に動画配信も検討事項とした。議会運営委員会関係では、議案や陳情請願の取り扱いについて、内容を精査し丁寧な取り扱いが必要であるとしました。

今後の議員定数等を含めた、議会のあり方に対する検討については、新規の特別委員会を組織して進めることが望ましいとしました。

委員長 折橋 尚道



新型コロナ対策



5月臨時会

(令和2年5月11日開催)

臨時会で新型コロナ対策関連の議案が議決されました。補正予算の総額は約16億5千万円で、その内町単独では約4億9千万円の補正予算です。

3月27日公表の第2次緊急対策、4月17日公表の第3次緊急対策、第4次緊急対策として臨時会に提出された関連議案及び、3月定例会で議決した第1次緊急対策も含めると、町独自の事業数は50件余りとなります。

これにより、箱根の基幹となる観光産業への支援は当然として、教育・福祉支援など多方面にわたつての予算措置と事業の実施が決定されました。

町民と事業者への支援策

(総額約16億5千万円の内
町単独約4億9千万円)

【専決処分 5件承認】

- ①低所得者の介護保険料の軽減強化
- ②国保加入者のうち、感染、その疑いの方に傷病手当金を支給
- ③中小企業者が融資を受けた場合の信用保証料と支払利子の補助
- ④観光事業者等緊急支援補助金創設の為3億円追加
- ⑤②の執行予算として傷病手当100万円追加

5月新規 町独自支援対策

- 経営安定緊急融資枠6,133万3千円追加
- 国民健康保険料率の引き下げ
- 高校生のいる世帯に対して生徒1人1万円給付
- ひとり親世帯に対して3万円給付
- 住居を失った方に対する町営住宅提供他45件

国と県の支援策

- 前年同時期比概ね20%以上の収入減少が生じた場合において、無担保かつ延滞金なしで1年間の町税の納付を猶予する(国)
- 子育て世帯に対する給付(国)
- 国民健康保険料、介護保険料の減免(一定条件の収入減少者が対象)(国)
- 感染症拡大防止協力金(県)他4件

議会議員6月期末手当 50%削減が可決

新型コロナ対策の予算捻出のため、期末手当を削減しました。

同じく町特別職50%、町管理職職員10%削減も可決



距離をとって行われた臨時会 (神静民報社提供)

録音サークルを議長が訪問

録音サークルのご厚意で、目の不自由な方のため、議会だよりの一般質問部分を音声にして届けてくださっています。

議長が日ごろのお礼に録音サークルの皆さんに会いに行きました。



議長と録音サークルの皆さん



二人一組で録音します



ごまちゃん
(14歳)

我が家の自慢

おとなしくて、人懐こく
よく寝ています。
いつまでも
長生きしてね!

湯本地区 吉田さん

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送または下記にEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載)

web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp

なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

広報広聴委員会
委員長
副委員長
委員

折橋 親由
稲葉 尚道
村野 太一郎
勝野 紀子
勝野 剛一
川俣 泰彦
侯 延明

6月定例会の日程(予定)

6月11日(木)、17日(水)、23日(火)



※6月4日(休)開催予定の議会運営委員会において決定いたしますので、開催日は変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

～ 皆さまの傍聴をお待ちしています ～

議会報告会

例年6月に実施している報告会は、昨今の状況から開催を見合わせます。開催の可否については再度議会だよりでお知らせします。